

アイリス Letter

保護者の皆様へ



2025年3月19日発行
第5号
広島女学院中学高等学校

<聖書のことば>

主において常に喜びなさい。重ねて言います。喜びなさい。あなたがたの広い心がすべての人に知られるようになさい。主はすぐ近くにおられます。

エレミヤ書 29章 11節

春は近づいていますが、突然の雪の朝に驚かされるなど、寒暖差がはげしい日々が続いております。学校の桜の芽も、一斉に膨らむのではなく、それぞれ木によってマイペースで春を迎えているようです。

今日、2024年度の終業の日、そして、中学卒業礼拝の日を迎えました。この1年間の歩みはいかがでしたでしょうか。生徒のみなさんは、やらなければならないことに追われるときもあったと思いますが、一人ひとりが、まじめに、ていねいに、熱心に、勇気をもって、少ししり込みしながら、などの修飾語はついても、楽しみながら毎日を過ごしてくれました。一年間、お疲れさまでした。また、保護者のみなさまは、ご不安なこともあったかもしれませんが、今、一年間のお子様の成長も感じていらっしゃると思います。ご家庭で、互いのねぎらいのときがありますとうれしく思います。

さて、この春休みは、新しい2025年度の一年間を迎える準備期間でもあります。広島女学院は、この秋に139周年を迎えます。改めて、原点に戻る一年にしたいと思っております。創立者砂本貞吉先生、そして初代校長ゲーンズ先生が祈り、まかれた種は、お一人お一人の生徒・保護者に受けつがれ、多くの人に助けられ、大きく育ち続けています。

以下、湊晶子先生（元院長）の『現代（いま）を生きる私達へのメッセージ』から引用したものです。今、この時に大きな示唆を得ることができます。

砂本貞吉先生は、1886年（明治19）に「広島女学会」を開設し、明治20年には広島英和女学校へと発展した。この新しい女学校の設立については、当時の社会は理解がなく新聞は反対の社説を掲載したとの記録がある。当時の県会議員山中弁護士は、「広島に女学校が開設されたのは大変良い。しかし、聖書を教えられるのは困る。それさえ止めれば協力援助する」と。当時資金に困っていたが、砂本貞吉牧師は最も大切な主義を捨てることはできないと考え、「ご趣旨は有り難いがお断りする」と答えた。砂本牧師は礼拝を大切にし、日曜日には、文武館の階下すなわち元柔剣道場に用いられたところを「教会」にあてた。これが今日の広島流川教会である。

（校長）



中学入試、オリエンテーションについて

1月22日（水）に、多くの受験生をむかえ中学入試が行われました。

前日には中3・高2の生徒たちが教室掃除を担当し、受験生にとって気持ちの良い環境を整えてくれました。入試当日も朝早くから受験生が安心して試験に臨めるよう働いてくれた補助生徒の皆さんにも心から感謝します。

合格発表の後、2月1日（土）には第1回新入生オリエンテーションが行われ、制靴やカバン等の購入を行いました。15日（土）には第2回新入生オリエンテーションを終え、新入生はいよいよ4月7日（月）の入学の日を待つばかりとなりました。在校生の皆さん、新しい女学院生を笑顔で歓迎しましょう。

（中学教頭）

中学英語オラトリカルコンテスト

2月12日（水）、第49回オラトリカルコンテストがゲーンズホールにて開催されました。中学1・2年生は暗唱、中学3年生とインターナショナル部門の生徒はスピーチを発表しました。各学年の代表として登壇したスピーカーたちは、冬休みから練習を重ねた成果を十分に発揮し、熱のこもった素晴らしい大会となりました。また、MCを務めた中学3年生の生徒たちも、この日のために一生懸命準備をし、大会を大いに盛り上げてくれました。

当日は多くの保護者の皆さまにもご来場いただき、盛況のうちに幕を閉じることができました。ありがとうございました。



受賞者は以下の通りです。

中1	1 位	F. A	(1-2)
	2 位	N. M	(1-4)
	3 位	H. A	(1-5)
	敢闘賞	I. S	(1-4)

中2	1 位	T. A	(2-1)
	2 位	K. M	(2-4)
	3 位	I. M	(2-4)
	敢闘賞	F. K	(2-2)

中3	1 位	I. A	(3-3)
	2 位	I. W	(3-2)
	3 位	A. H	(3-3)
	敢闘賞	S. N	(3-4)
	敢闘賞	F. K	(3-5)

インターナショナル部門			
1 位	M. L	(2-1)	

（英語科）

高校小論文コンクール

2月18日（火）に、恒例の高1・2年生小論文コンクールが実施されました。

ポスト新型コロナ、そして、戦争や紛争の絶えない世界において、「未来をどう築いていくのか」が問われる時代を私たちは生きています。大学入試における小論文では、こうした現

代社会の諸問題に関心を持ち、「未来をどう築いていくのか」という「問い」にどれだけ向き合ってきたかが問われていると言っても過言ではありません。

今年度は、内山節の『里』という思想（高1）、梅林宏道「全体を生きる―相良倫子さんの詩を聴いて」（高2）からの出題でした。筆者の「想い」をしっかりと読み取り、どんな未来を生きていくかという、哲学的とも言える「問い」に対して、真摯に向き合えたかがポイントです。小論文コンクールは、自分たちの生き方を見つめ直すいい機会です。春休みの中で、再度、この世界の中で「未来をどう築いていくのか」を考えてみてください。受賞者のみなさん、おめでとうございます！



高1 表彰式の様子



高2 表彰式の様子

[高1]

優 秀 賞 T. S (1-A)・H. I (1-B)・M. S (1-D)

[高2]

最優秀賞 K. S (2-C)

優 秀 賞 H. T (2-B)

(国語科)

第4回探究フェス

3月13日(木)、第4回探究フェスが行われました。開会式では、本校卒業生の安原有紗さんに「被爆の記憶の伝え方～広島平和記念公園の祈りの場の風景デザイン～」という主題で講演していただきました。身近な平和公園について、「原爆ドームが写真にどうとらえられたか」を切り口に分析する研究は、非常に新鮮でした。文理の壁を越えて、知識を統合し、地道に資料を集める姿勢は探究のロールモデルになったと思います。



たか」を切り口に分析する研究は、非常に新鮮

でした。文理の壁を越えて、知識を統合し、地道に資料を集める姿勢は探究のロールモデルになったと思います。

その後、各学年代表者による発表が行われました。全6R(ラウンド)では回り切れないくらい魅力的な発表が多くありました。生徒の振り返りからは、「見たい発表が多くて、回りきれないくらい楽しかった」「自分の探究を見つめ直す機会になった」という感想が寄せられました。年々探究の質が上がっていると感じます。来年も楽しみです。

(探究活動推進委員会)



2025年度大学入試合格状況（3/12 現在判明分）

国公立前期合格発表までの合格状況（過年度卒業生を含む）です。それぞれが納得のできる進路を選び、しっかり歩いてほしいと願っています。

国公立大学(学校推薦・総合型含む) ※前期までの合格者数 49名(昨年度 59名)

北海道	1	奈良女子	1	九州工大	2	大阪公立	1
東北	1	島根	1	長崎	1	島根県立	1
筑波	1	広島	22	大分	1	尾道市立	1
大阪	1	山口	4	鹿児島	3	県立広島	1
神戸	2	九州	1	名古屋市立	2	叡啓	1



私立大学など(学校推薦・総合型含む)

酪農学園	1	東京薬科	1	立命館	23	エリザベト音楽	2
国際医療福祉	1	東京理科	5	龍谷	4	広島工業	4
自治医科	1	桐朋学園	1	京都医療科学	2	広島修道	21
青山学院	4	東洋	8	大阪医科薬科	3	広島女学院	2
学習院	1	日本	2	大阪樟蔭女子	1	広島文教	3
北里	1	日本女子	1	関西	6	福山	2
慶應義塾	1	法政	5	関西医	1	安田女子	25
国際基督教	1	明治	4	近畿	39	広島国際	7
駒沢	1	立教	12	摂南	1	日赤広島看護	7
芝浦工	4	早稲田	3	関西福祉	1	広島都市学園	2
上智	1	麻布	1	関西学院	55	西南学院	1
成城	1	神奈川	1	甲南	7	福岡	6
多摩美	2	金沢医科	1	甲南女子	1	福岡歯科	2
中央	4	金沢工業	1	神戸女学院	1	水産大学校	1
津田塾	1	大谷	2	神戸女子	1	国立看護大学校	1
帝京	1	京都産業	5	神戸薬科	2	広島工業大学専門学校	1
東海	4	京都女子	7	兵庫医科	1	キャットミュージックカレッジ	1
東京家政	1	京都橘	1	武庫川女子	2	ハンガリー医科	1
東京女子	3	京都薬	3	岡山理科	2		
東京造形	1	同志社	16	川崎医科	1		
東京農業	4	同志社女子	2	倉敷芸術科学	2		



(進路指導部)

2025 年度中学生徒会役員 選挙結果

来年度の生徒会五人委員は次の人たちが選出・承認されました。

2年1組 T. K

2年2組 H. S

2年2組 S. K

1年5組 T. A

1年5組 Y. T

選出された五人委員には、女学院中学校生徒会の伝統を守りつつも、さらに発展し続ける生徒会であるよう、それぞれの力を十分に発揮していってくれることを期待します。

(中学選挙管理委員会顧問)

2025 年度高校生徒会執行委員 選挙結果

2月に行われた選挙によって、来年度新高1の生徒会執行委員は以下の5名に決まりました。先輩方と力を合わせ、来年度も生徒会行事を運営していきます。どうぞよろしく願いいたします。

3年1組 Y. Y

3年3組 H. S

3年3組 H. E

3年3組 S. A

3年5組 F. K

(高校生徒会顧問)

『ガリラヤの風』(宗教活動のまとめ) 配布

今年度も、本校の教育活動の根幹であるキリスト教教育の結実の一部を小冊子としてお届けいたします。藤田千代子(ふじた ちよこ)さんのキリスト教強調週間主題講演をはじめ、各特別礼拝の貴重なメッセージ、キリスト教強調週間感想、生徒礼拝など、講師の先生や聖書との出会いを通して、豊かに成長している生徒たちの姿に接していただけたと思います。お子様と共にぜひご一読ください。また生徒の皆さんは、この冊子を手元に残して卒業後も読み返してほしいと思います。

(宗教教育委員会)

保健室だより (5)

終業の日を迎えました。今年度も保健室の取り組みにご理解、ご協力をいただき、ありがとうございました。

この1年間で、お子様は様々な経験を通して、力をつけて成長されています。今まで出来なかったけど、出来るようになったことも沢山あることでしょう。これもご家族の支えがあってからこそです。お子様と一緒にお互いを労い、褒めあっていただけたらと思います。

春休みは新年度4月からの学校生活に向けて、大切な心身のエネルギーチャージ期間です。生活リズムを整えながら、楽しく有意義に過ごしていきましょう。また心身ともにリラックスできる時間を持てるよう、ご家庭でもご協力頂けると幸いです。

4月8日(火)始業の日から健康診断が始まります。気になる症状や、受診ができていない症状がある場合は、春休みの間に受診されることをお勧めします。

(保健室)

心の健康 (5)

朝、歩いていると沈丁花のいい香りがしてきます。何ともホッとします。夜、日が暮れて暗くなった道を歩いて帰っていると、どこからともなく花の香りがしてきます。人々の生活を身近に感じて、何だか安心して優しい気持ちになります。

美しいものを見たり、音楽を聴いたり、美味しいものを食べたり、暖かさに触れたり、香りを嗅いだり、と五感が満たされると心が落ち着きます。

春はいい香りで心がリフレッシュします。これからの季節は特に五感を大切に、心の健康を保ちましょう。

(カウンセラー)

教職員の動向

○今年度末に11名の教職員の方々が異動・退職されます。皆様、本当にありがとうございました。今後のご活躍をお祈りいたします。

退職

梅田 玲奈(聖書)	在職2年
重松 純(社会)	在職35年
久保 光章(数学)	在職10年
渡部 新(体育)	在職37年
山縣 泉(英語)	在職5年
ワイル ジョン(英語)	在職30年

(非常勤講師)

刀祢館 美也子(聖書)	在職2年
松岡 兪利(社会)	在職2年
山下 陽子(数学)	在職2年
石川 純音(理科)	在職1年
古川 淳子(家庭)	在職1年

生徒の活躍

◇観光甲子園 2024

空飛ぶクルマ部門 入賞

1-D O. C W. N Y. M

◇中高吹奏楽部

第48回広島県アンサンブルコンテスト

高等学校の部 管楽八重奏 銀賞

中学校の部 打楽器五重奏 金賞

管打八重奏 銀賞

金管八重奏 銅賞



◇第74回 全日本学生書道展

学会奨励賞 1-3 K. I

秀作賞 3-4 K. H

◇第77回広島県児童生徒書道展

特別賞 (テレビ新広島賞) 3-1 T. R

会長賞 3-3 A. H

◇2-E K. S

PCD グローバルキャンパス・ジャパン デュアルディプロマ・プログラム 修了

◇1-B K. H (他2名の他校生徒とともに)

第68回全国学芸サイエンスコンクール 旺文社赤尾好記念賞 (銅賞)

「山陰地方西部と九州地方北部を中心とした砂浜海岸におけるスナガニ属の分布」

◇3-1 Y. Y

・2024年度ブルグミュラーコンクール (ピアノ)

中学部門 中国後期ファイナル 金賞

・2024年度中国ジュニアコンクールピアノオーディション

第17回中国Bジュニアピアノコンクール、第17回中国Bピアノオーディション

B課程優秀賞ならびに広島市教育委員会賞

◇3-3 I. A

・令和6年度東広島アザレア賞

(第25回大阪国際音楽コンクール (ユース部門自由曲ジュニアコース) 第1位)

・令和6年度メイプル賞 (第2回)

(第25回大阪国際音楽コンクール (ユース部門自由曲ジュニアコース) 第1位)





今月の聖句

「それから、イエスはパンを取り、感謝の祈りを唱えて、それを裂き、使徒たちに与えて言われた。『これは、あなたがたのために与えられるわたしの体である。わたしの記念としてこのように行いなさい。』食事を終えてから、杯も同じようにして言われた。『この杯は、あなたがたのために流される、わたしの血による新しい契約である。しかし、見よ、わたしを裏切る者が、わたしと一緒に手を食卓に置いている。人の子は、定められたとおりに去って行く。』」

(ルカによる福音書 22 章 19 節～22 節)

3月5日(水)から、キリスト教独自の暦ではレント(受難節)に入りました。レントはイエスさまの十字架を心に留めて過ごす期間です。今月の聖句になっている聖書箇所は、イエスさまが十字架にかかる直前の最後の食事、いわゆる「最後の晩餐」の場面です。イエスさまはパンと杯を手に取り、「これは、あなたがたのために与えられるわたしの体である。…この杯は、あなたがたのために流される、わたしの血」と語っています。イエスさまはこの後、自分が逮捕され、鞭うたれ、ボロボロになりながら十字架を背負って歩み、そして十字架刑に処せられることをご存じなのです。またイエスさまは弟子たちの裏切りも予告しています。つまり、イエスさまは十字架による肉体的な辛さと、今まで生活を共にしてきた弟子たちの裏切りという精神的な苦しみも味わわれたのです。

そんなイエスさまだからこそ、私たち人間が抱える苦しみや辛さ、自分の汚い部分を分かってくれるのではないかと思います。この世の苦しみを味わい尽くしたイエスさまだからこそ、私の苦しみを共に担ってくださる、そう信じてこのレントの期間を歩んでいく者でありたいと思います。

(聖書科U. R)

4月 7日(月) ・(中学)入学礼拝 (新中2・3、高校生は休日)

(新中1)	
ホール前受付	9:10～
入堂案内	9:20～
入学礼拝	10:00～11:00
HR(各教室)	11:00～12:10
保護者向けエンターション(ホール)	11:00～11:40

4月 8日(火) ・(高校)入学・始業礼拝 ・中学始業礼拝

[中学]・HRに出席番号順に着席 (新クラス名簿を教室前に掲示)

	HR・クラス写真	8:25～ 9:20
	教室待機	9:30～ 9:50
	始業礼拝(新任紹介)	10:00～10:40
(中1)	オリエンテーション(ホール)	10:50～11:40
	個人写真(音楽室①②)	11:50～12:30
	昼食	12:30～13:20
	第1次スクリーニング	13:30～15:30
(中2)	第1次スクリーニング・内科検診	11:00～15:30
(中3)	第1次スクリーニング・内科検診	11:00～15:30

[高校]・HRに出席番号順に着席 (新クラス名簿を教室前に掲示)

	SHR	8:25～ 8:45
	入学・始業礼拝(新任紹介)	8:55～ 9:45
(高1)	クラス写真・HR	9:45～10:30
	オリエンテーション	10:45～12:00
	昼食	12:00～12:35
	個人写真(音楽室①②)	12:40～13:20
	第1次スクリーニング	13:30～15:30
(高2、3)		
	HR・クラス写真・時間割作成作業	10:00～11:10
(高2)	第1次スクリーニング・内科検診	11:20～15:30
(高3)	第1次スクリーニング・内科検診	11:20～15:30

(昼休憩はクラス毎に設定)